

あおぞら・徹底分散グローバル・サステナビリティ株式ファンド  
追加型投信／内外／株式

愛称

# 満天観測

MAN

TEN

KAN

SOKU

本資料のご利用にあたってのご留意事項等 ■本資料は、あおぞら投信株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。■本資料に記載された市況や見通し（図表、数値等を含みます。）は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」および目論見書補完書面をご覧ください。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

 あおぞら銀行

AOZORA

商号等 株式会社あおぞら銀行 登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号  
加入協会 日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

 あおぞら投信

AOZORA

商号等 あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2771号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

もっと広く、長く、誰にでも。  
成長する世界市場を  
くまなく観測し続ける  
“見晴らしのいい”投資

MAN TEN KAN SOKU

# 満天観測

「満天観測」3つのポイント

## ポイント①

世界の成長を  
逃さない  
世界まるごと投資



## ポイント②

長期的には  
インデックスを上回る  
投資成果を目指す



## ポイント③

ESG (環境、社会、  
企業統治) を考慮した  
ポートフォリオ



# 投資を始める前に… みんなの疑問や不安

そもそも、  
何に投資をすればよいの？

将来のためになる  
投資はできないの？

大きな下落や  
景気の影響は？

なぜ世界の株式に  
投資をするの？

どんな運用方法を  
選べばいいの？

投資を始めるには  
たくさんの資金が  
必要？

豊かな社会を作るための  
お金の活かし方って  
あるのかな？

ドキドキするような  
投資は嫌だな…

一緒に考えていきましょう  
Let's Start



# 【満天観測】のポイント①

## 世界の成長を逃さない世界まるごと投資



ギモン

そもそも何に投資をすればよいの？  
なぜ世界の株式に投資をするの？

### ヒント

### 世界まるごと投資



長い期間で見ると、これまで世界経済は成長しており、世界の株価も上昇しています。

今後の経済も成長していくと考えると、そのすべての可能性に投資をすることができれば、投資した資産も成長していくと思いませんか？



※世界株式:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(グロス配当込み、円換算ベース)、日本株式:TOPIX(配当込み)  
※1989年1月末を100として指数化しています。※上記は過去の実績およびIMFの予測であり、将来における運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

出所:IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook Database October 2021、MSCI Inc.、東京証券取引所からのデータを基にあおぞら投信が作成。

長い期間で見ると世界経済は成長しているし、  
世界の株価も上昇しているね。



## ～世界まるごと投資のイメージとそれぞれの特徴～

ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ(以下、ディメンショナル)の株式戦略は、より高い期待リターンを持つ銘柄群の比重を相対的に高く設定することで、長期的にはインデックスを上回る投資成果を目指します。

**満天観測**  
約7,000銘柄

**研究に基づいた銘柄構成**  
インデックスの2倍以上の銘柄数  
柔軟かつ先進的な独自のトレード手法により、取引コストなどの経費を抑制

**一般的な  
インデックスファンド**  
約2,900銘柄

**インデックスに連動した銘柄構成**  
一般的には低コストの運用だが、インデックスの銘柄入れ替えに伴う直接、間接の取引コストが増加要因となる傾向

**一般的な  
アクティブ  
ファンド**

**将来の予想に基づき銘柄選択を実施**  
個別銘柄や景気分析にかかる人的コスト、高い売買回転率に伴う取引コストがかさむ傾向

※ここでいう一般的なインデックスファンドとは、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスを指標としたインデックスファンドを指します。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した指数で、世界株式の代表的な指数です。上記は、委託会社があくまでイメージとして作成したものです。

2021年12月末現在





# 【満天観測】のポイント①

## 世界の成長を逃さない世界まるごと投資



ギモン

大きな下落や景気の影響は大丈夫？

### ヒント

### 時間を味方に



相場の上下動を当て続けることは、誰にもできません。しかし、投資期間が長ければ長いほどマイナス発生確率は小さくなります。皆さんは、運用できる時間をご自分にどれくらいあるかご存知ですか？

### 運用できる時間は意外と長い！

#### ●それぞれの年代の平均余命

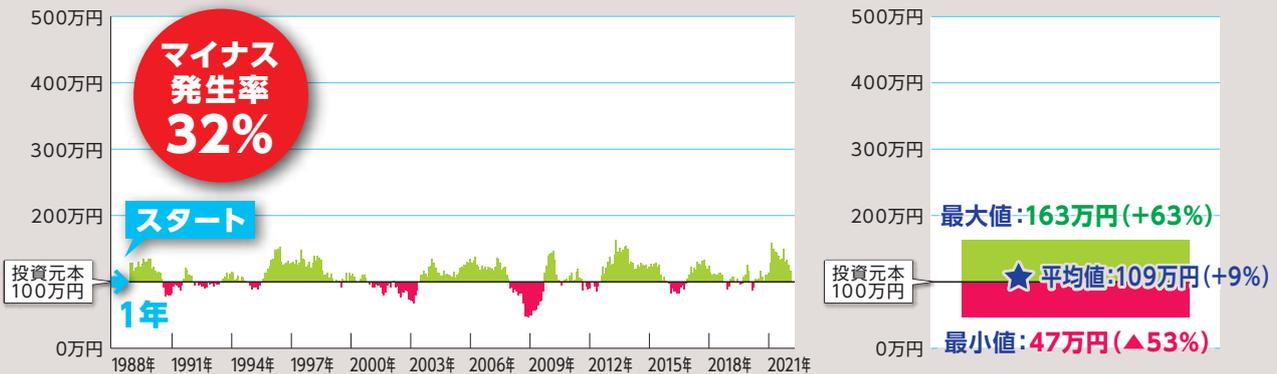


出所:厚生労働省 令和2年簡易生命表

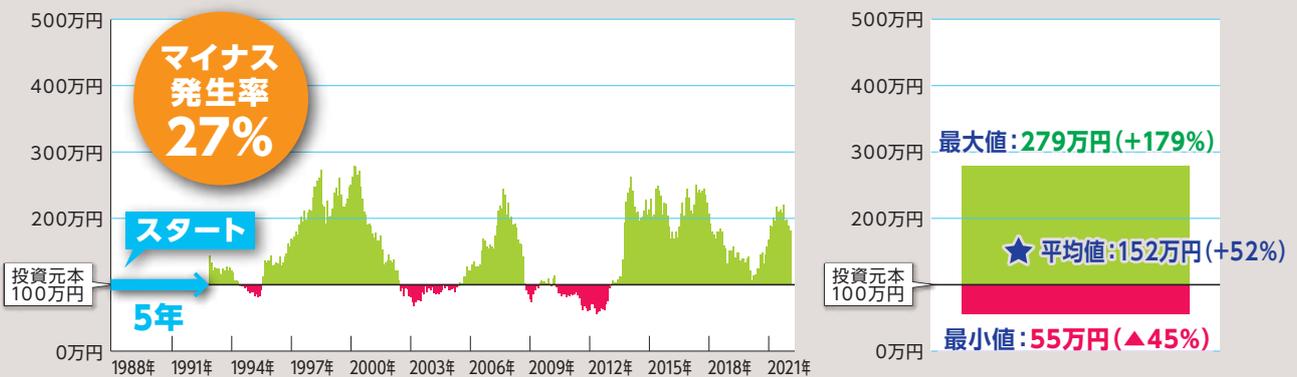
こんなに時間があるのなら、将来を考えると今からでも準備していれば結構良い結果につながるんじゃないかな。

## 世界株式に投資した実績の比較図 ～投資金額100万円を一括投資した場合～

### ● 運用期間1年の結果 (運用開始時期:1987年12月末～2021年2月末)



### ● 運用期間5年の結果 (運用開始時期:1987年12月末～2017年2月末)



### ● 運用期間15年の結果 (運用開始時期:1987年12月末～2007年2月末)



上記グラフは、1987年12月末以降の各月末に運用を開始した場合の1, 5, 15年間のリターンとその最大値、最小値、平均値を示したものです。また、実際の運用に係わる費用は反映していません。過去の実績は将来における運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。世界株式:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(グロス配当込み、円換算ベース)  
出所:MSCI Inc.からのデータを基にあおぞら投信が作成



## 【満天観測】のポイント②

# 長期的にはインデックスを上回る投資成果を目指す



ギモン

どんな運用方法を選べばいいの？  
ドキドキするような投資は嫌だな…

ヒント

### 金融サイエンスを用いた運用手法

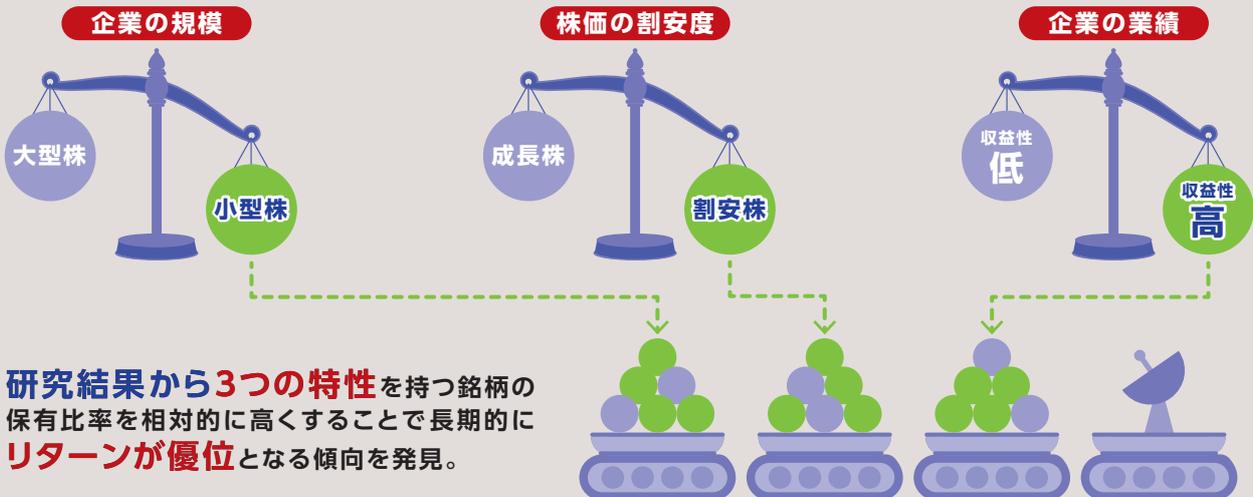


「満天観測」の運用は**ディメンショナル**が行います。ディメンショナルは資本市場を科学的に分析し、研究結果に基づく運用を行っています。研究結果にお任せしてみるのも考え方の一つでは？

#### 研究結果を実践へ

～ディメンショナル独自の運用スタイル『3ファクターモデル』の活用～

#### ●ポートフォリオのイメージ



#### ●「満天観測」と一般的なインデックスファンドを比較したポートフォリオのイメージ



※市況や資金動向その他の要因等によっては、上図のような運用ができない場合があります。また、変更される場合があります。  
※上図は運用手法のイメージ図を委託会社が作成したものです。 ※本ファンドはベンチマークを定めておりません。



ギモン

ところで「3ファクターモデル」の何がすごいのか？

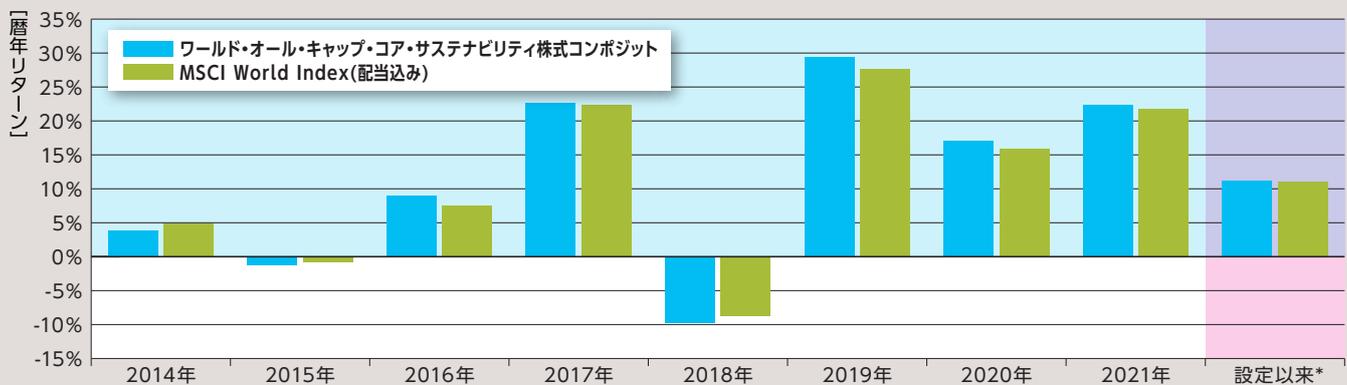


3つの特性(3ファクターモデル)を活用したディメンショナルの運用で、投資期間が15年以上の長期間の場合、短期的に被った損失が報われることも分かったのです。

それなら研究結果に基づいた運用で、長期的にインデックスを上回る投資成果を目指してみたいな。



### 【参考】 組入れファンドの類似戦略(コンポジット)の運用実績(先進国株式)



出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ、MSCI Inc.からのデータを基におおざら投信が作成。コンポジットとは、類似の投資目的または投資戦略にしたがって運用される1つ以上のポートフォリオを1つに集めたものであり、本ファンドの運用実績ではありません。

過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。ワールド・オール・キャップ・コア・サステナビリティ株式コンポジットのリターンは、配当再投資、その他利益を含み、全取引費用控除後、運用報酬及び運用コスト控除前で提示されています。なお、設定以来のリターンは年率換算後のものです。パフォーマンスは米ドルベースです。実際の投資リターンは、運用報酬および運用に係わる費用等により低くなります。

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。

\*設定以来:2013年11月1日~2021年12月31日



## 【満天観測】のポイント③

# ESG (環境、社会、企業統治) を考慮したポートフォリオ



ギモン

将来のためになる投資はできないの？ 豊かな社会を作るためのお金の活かし方はあるかな？

### ヒント

## サステナビリティ (持続可能性)



今の自分の暮らしだけでなく、将来の社会に貢献する投資の方法があるのでは？ ESG (環境、社会、企業統治) はサステナビリティを推進するための一つの考え方です。ESG を考慮したポートフォリオを構築する本ファンドでは、環境や社会的なサステナビリティ (持続可能性) を重視しているので、あなたの投資が将来の社会に役立つのではないのでしょうか。満天観測のポートフォリオがどのように構築されるのかを見てみましょう。

### 環境サステナビリティを考慮

#### ① ポートフォリオ全体を考慮

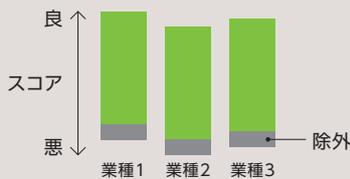


温室効果ガス排出量を基準に投資対象銘柄から除外…

投資対象からの除外などにより、気候変動への大きな影響が想定される企業への投資割合を減少。ポートフォリオ全体を温室効果ガス排出量 (売上高あたり)、埋蔵分からの潜在排出量をもとにスコアリングし、下位5%の銘柄を除外。



#### ② 業種別に考慮



サステナビリティ・スコアに基づく配分調整…

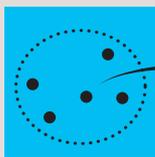
資産配分の調整によるサステナビリティ指標の改善と分散投資の両立。

業種ごとにサステナビリティ・スコアに基づきスコアリングし、下位10%の銘柄を除外、一方でサステナビリティ・スコアの高い銘柄の投資割合を高める調整を実施。

※サステナビリティ・スコアの内訳：温室効果ガス排出量 (売上高あたり) 85%、その他15%。



### 社会的サステナビリティを考慮



#### ESG改善の追加的項目

右記などの項目が懸念される企業に対し、投資対象から除外または投資割合を低める調整。

- 石炭・パーム油・工場式農場経営
- 児童労働・タバコ・地雷/クラスター爆弾
- 民間用銃器 など



# 満天観測

MAN TEN KAN SOKU

出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズのデータを基にあおぞら投信が作成

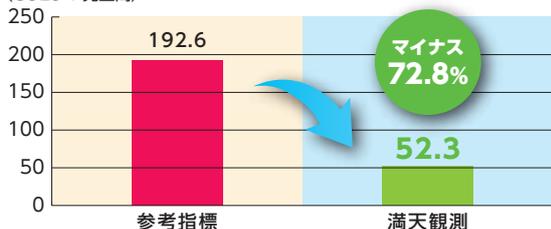
※上記はディメンショナルが独自の基準でスコアリングする過程をイメージするために作成したものです。なお、上記は2022年3月末現在の情報であり、今後変更になる場合があります。

## 環境サステナビリティの効果

参考指標と「満天観測」のポートフォリオ特性を比較。

### ● 温室効果ガス排出量 (売上高あたり)

(CO<sub>2</sub>e\*/売上高)



### ● 埋蔵分からの潜在排出量

(CO<sub>2</sub>e\*/売上高)



2021年12月末現在

上記グラフの参考指標は、満天観測の投資対象ファンドの資産構成に合わせてMSCIワールドインデックスとMSCIエマージングマーケットインデックスを7:3の割合で合成したものです。また、満天観測は、投資対象ファンドと同じ戦略の代表口座\*2のデータを基に算出したものです。過去の実績は将来における運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズのデータを基にあとぞら投信が作成

\*1 CO<sub>2</sub>eとは、各種温室効果ガスをCO<sub>2</sub>に換算した数値です。\*2 ワールド・オール・キャップ・コア・サステナビリティ株式戦略とエマージング・マーケット・オール・キャップ・コア・サステナビリティ株式戦略の代表口座をいいます。代表口座とは、複数ある類似戦略の中の最も代表的なものを指します。

環境に配慮している証 (SFDR) もあるし、自分のためだけでなく、  
未来の社会にも役立てられて、間接的でも社会貢献ができるね!



当戦略はSFDR 第8条分類「環境や社会的特性を促進する商品」に該当します。

**SFDR:**『欧州サステナブルファイナンスに関する開示規制 (Sustainable Finance Disclosure Regulation)』とは?

金融市場参加者における持続可能性に関するルールを標準化することにより、持続可能性に係るリスク評価の透明性を高めることを目的にした規制のことで、「グリーンウォッシング」(環境に配慮しているように装うこと)を防止すること、また、最終投資家が金融商品を比較しやすくすることが期待されています。

SFDRでは以下の2つの分類がサステナブル関連商品とされています。

● 第8条分類 環境や社会的特性を促進する商品 ● 第9条分類 サステナブル投資を目的とする商品

P.10上段のグラフデータは、当該戦略の代表口座\*2の情報です。参考指標算出に用いた温室効果ガス排出量原単位(売上高あたり)は、直近の発行体企業発表に基づき、(1)直接排出及び(2)電気・熱の使用に伴う間接排出合計を売上高(米ドルベース)で除算することで算出。算出方法は将来変更される可能性があります。埋蔵分からの潜在排出量は、発行体企業発表に基づき、企業が貯蓄する石油、ガス、石炭がエネルギーに転換された際に発生する、理論的に推定される二酸化炭素排出量を指します。算出方法は将来変更される可能性があります。上記の情報は、Institutional Shareholder Services Inc. ("ISS")およびMSCI ESG Research Inc. ("ESG")により提供。"ESG"およびその関連会社("ESG関連会社")を含む、Dimensional Fund Advisorsの情報プロバイダーは、信頼度の高い情報源からデータを取得している一方、"ESG関連会社"はいずれもデータの独自性、正確性、および完全性を保証するものではありません。"ESG関連会社"は、いかなる種類の保証も行わず、いかなるデータに関しても、商品性および特性の目的への適合性への保証を行いません。いずれの"ESG関連会社"も、データに関連する誤り、または脱落について、責任を負わないものとします。さらに、"ESG関連会社"は、直接的または間接的問わず、その他の損害(利益の損失を含む)などにつき、その可能性について通知された場合においても、いかなる責任も負わないものとします。MSCI data © MSCI 2022, all rights reserved. インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。インデックスは市場環境を示すことだけを目的としています。



# ディメンショナルってどんな会社なの？



ディメンショナルはウォール街よりも学術研究を信頼すると決めた珍しい会社で、お客様に投資の成功体験をもたらすことを目指しています。市場は好調な時もあれば厳しい時もあります。ディメンショナルのゴールは、市場の動きに十分備え、投資プランを守り続けることができる運用サービスをお客様に提供することです。

## 注目

## ディメンショナルの起源

著名な学識経験者がコンサルタントを務めています

1966年

**効率的市場仮説** ユージン・ファーマ [シカゴ大学教授]

効率的市場仮説は近代ファイナンスの幕開けとなる。

1973年

**資本資産評価モデル** ロバート・マートン [マサチューセッツ工科大学教授]

異時点間CAPM(資本資産評価モデル)は、複合的なリスクがどのように発生するかについての理論的枠組みを提唱。市場ベータだけが唯一価格に反映するリスクとした一期間CAPMを拡大したものの。

1981年

**Dimensional Fund Advisors LP アメリカ本社創業**

デービッド・ブース [Dimensional]

最初の投資戦略として、他に先駆け小型株投資戦略をスタート。効率的に分散された小型株への投資戦略を提供。

1983年

**期間構造** ユージン・ファーマ [シカゴ大学教授]

インプライド・フォワード金利が債券の期待期間プレミアムに関する情報を提供してくれることを示す。

1992年

**3ファクター資産価格モデルを開発**

ユージン・ファーマ [シカゴ大学教授]、ケネス・フレンチ [ダートマス大学教授]

市場、企業規模、価格(バリュー)の3つのファクターが株式のリターンを決める主要な要因となることを発見。

1997年

ロバート・マートン [マサチューセッツ工科大学教授] ノーベル経済学賞受賞

2012年

**収益力** ユージン・ファーマ [シカゴ大学教授]、ケネス・フレンチ [ダートマス大学教授]、ロバート・ノーマークス [ロチェスター大学教授]

一連の学術研究により、企業の収益力が株式市場全体においてより高い期待リターンを持つ「ディメンション(特性)」であることが確認された。

2013年

ユージン・ファーマ [シカゴ大学教授] ノーベル経済学賞受賞

現在

Dimensionalの研究と運用チームは学問の世界から運用に対する知見を得ていますが、私たちが他社と差別化する点は、それらを分析し、検証し、その研究結果をお客様のために投資ソリューションとして実践的に応用していることです。



## 注目

## ディメンショナルの理念

投資を科学し、お客さまに付加価値の提供を目指します

### ① 市場に対する揺るぎない信頼

ディメンショナルの投資アプローチは、市場に対する信頼に基づいています。

信頼性の低い予測をあてにしたり他者を先読みするのではなく、市場そのものから期待リターンに関する情報を導き出します。



デービッド・ブース氏 [創業者、エグゼクティブ・チェアマン]

「値上がりする銘柄を上手く選べる運用者の数は、確率的に、期待するよりはるかに少ない数しかいません。であれば、なぜそのような運用者を探すのでしょうか。その必要はありません」

## ② アイデアの源泉 — 金融サイエンス

ディメンショナルの投資アプローチは経済理論に基づき、何十年に及ぶ実証研究に裏打ちされたものです。

同社のリサーチ・チームは、リターンを追求するに当たって、第一線の金融エコノミストと連携しています。

これまでの研究により、期待リターンを生み出す証券には共通の特性があり、私たちはそれを「**ディメンション**」と呼んでいます。「ディメンション」と認定されるには、説得力があり、持続性があり、普遍性があり、コスト効率が良いという特性が満たされなければなりません。



ユージン・ファーマ氏

[2013年ノーベル経済学賞受賞、シカゴ大学教授、Dimensional Fund Advisors LP ディレクター 兼 コンサルタント]

**「新たに発表された研究については慎重に見極め、  
万全なものかどうかを確認します」**

## ③ お客様へのコミットメント

ディメンショナルの運用は、お客様に投資の成功体験をもたらすことを目指しています。

それは、単に投資リターンへの考察だけにとどまりません。何十年もの研究に裏付けられた明瞭なアプローチがあらゆる意思決定を支えていることを理解していただき、お客様に安心してもらうことです。

市場は好調な時もあれば厳しい時もあります。ディメンショナルのゴールは、市場の動きに十分備え、投資プランを守り続けることができる運用サービスをお客様に提供することです。



デーブ・パトラー氏

[共同チーフ・エグゼクティブ・オフィサー 兼 ヘッド・オブ・グローバル・ファイナンシャル・アドバイザー・サービス]

**「これまで、そしてこれからも、お客様に素晴らしい経験をさせていただくこと。  
それが私たちの仕事だ」**

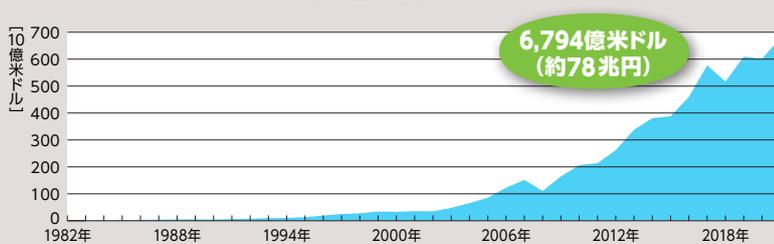
## 注目 ▶ ディメンショナルの資産

米国投信業界で、2020年資産残高第10位\*

\*出所：モーニングスター US Asset Flows Update (2020年12月末時点)

近年、資金流入が継続しており注目を集めています。

### ● ディメンショナル受託資産残高 (ディメンショナル各社合計)



市場が混乱した2008年から2012年の間、多くの投資家は保有する株式ファンドを売りました。その期間を通じてディメンショナルには多くの資金流入がありました。

ディメンショナルの運用資産残高は、

**6,794億米ドル (約78兆円)**

日本国内の公募投資信託の残高が164兆円ということは、ディメンショナルだけで日本国内の約半分の規模を運用していることとなります。  
(2021年12月末現在、1米ドル=115.07円で換算)

出所：ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ、一般社団法人投資信託協会のデータにあおぞら投信が作成。

P11,12における「ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ(「ディメンショナル」ということがあります。)」とは、特定の事業体を示すものではなく、世界各国に展開するディメンショナルのグループ企業であるDimensional Fund Advisors LP, Dimensional Fund Advisors Ltd., DFA Australia Limited, Dimensional Fund Advisors Canada ULC, Dimensional Fund Advisors Pte. Ltd., Dimensional Ireland Limited., Dimensional Japan Ltd.とDimensional Hong Kong Limitedを指します。

・本資料は、ディメンショナル社の使用許諾の上、同社のホームページ等の資料から転載したものです。

・内容については、ディメンショナルにより予告なしに変更されることがあります。

# ファンドの特色

## ① 世界の株式に幅広く分散投資を行います

- ・ 投資信託証券を通じて日本を含む世界の株式(新興国の株式を含みます。)に広く分散投資を行うことで、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
- ・ 投資に当たってはサステナビリティ(持続可能性)を考慮します。

### 投資する外国投資信託証券

#### 先進国株式

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・サステナビリティ・コア・エクイティ・ファンド

#### 新興国株式

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・サステナビリティ・コア・エクイティ・ファンド

※本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います(ファンド・オブ・ファンズ方式については、後記「ファンドの仕組み」をご覧ください。)  
※上記は2022年4月22日現在予定されている組入れ投資信託証券(以下「組入れファンド」または「指定投資信託証券」ということがあります。)の一覧です。  
※本ファンドは為替ヘッジは行いません。  
※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## ② 学術研究に基づく運用手法でお客さまに付加価値の提供を目指します

- ・ 組入れファンドの運用は、ディメンショナル・アイルランド・リミテッドが行います。
- ・ ディメンショナルは世界有数の運用会社として、地位を確立しています。

### ● 継続的な実証研究で常に一步先へ



～現実世界で投資の課題に立ち向かうその理由～

- ・ 研究でのイノベーションが新たな技術を生み出すのと同様に、お客さまのニーズや課題が新たな解決策への原動力となると考えます。
- ・ ディメンショナルの科学的かつ透明性の高いプロセス主動のアプローチで、お客さまは市場を予測することなく成功体験を積むことができると考えます。



ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

1981年創立

運用資産残高：6,794億米ドル(約78兆円)

従業員数：約1,400名

● ポートフォリオ・マネジメント&トレーディング ● クライアント・サービス



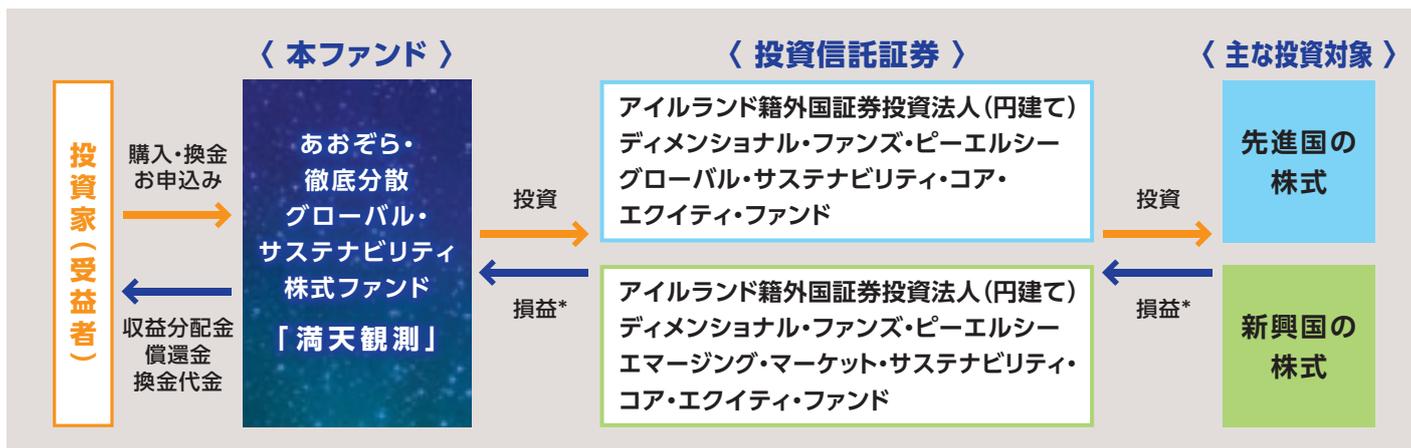
出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ 従業員数および運用資産残高:2021年12月末日現在、1米ドル=115.07円で換算

※各拠点はディメンショナルのオフィス所在地です。“ディメンショナル”と記載がある場合、特定の事業体を示すものではなく、世界各国に展開するディメンショナルのグループ企業である Dimensional Fund Advisors LP, Dimensional Fund Advisors Ltd., DFA Australia Limited, Dimensional Fund Advisors Canada ULC, Dimensional Fund Advisors Pte. Ltd., Dimensional Ireland Limited., Dimensional Japan Ltd.とDimensional Hong Kong Limitedを指します。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

# ファンドの仕組み

本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用に当たってはディメンショナル・アイルランド・リミテッドが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



※上記は2022年4月22日現在予定されている指定投資信託証券の一覧です。指定投資信託証券については見直されることがあります。この場合、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

\*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

### 主な変動要因

#### ● 株価変動リスク



本ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動リスクを伴います。一般に株式市場が下落した場合には、本ファンドが実質的に投資を行う株式の価格は下落し、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、株式の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、本ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。なお、本ファンドは一部新興国の株式に投資を行いますが、新興国の株価変動は先進国以上に大きいものになることが予想されます。

#### ● 為替変動リスク



本ファンドの実質的な主要投資対象は外貨建資産であり、一般に為替変動リスクを伴います。本ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。

#### ● カントリー・リスク



本ファンドは実質的に一部新興国の株式に投資を行いますので、カントリー・リスクを伴います。新興国市場への投資には、先進国市場への投資と比較して、社会・政治・経済の不確実性、市場規模が小さい故の低い流動性、通貨規制および資本規制、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートや現地通貨交換に要するコストの大きな変動、外国への送金規制等の影響を受けて、本ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

# 手続・手数料等

## お申込みメモ (あおぞら銀行でお申込みの場合)

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。  
お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

購入の申込期間	当初申込期間:2022年5月9日から2022年5月30日まで 継続申込期間:2022年5月31日から2023年7月20日まで ※継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
購入単位	1,000円以上1円単位とします。
購入価額	当初申込期間:1口当たり1円(1万口当たり1万円) 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	当初申込期間:当初申込期間中にお申込みの販売会社にお支払いください。 継続申込期間:販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から、 お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	アイルランド証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日または ニューヨーク証券取引所の休業日。
信託期間	原則として無期限(設定日:2022年5月31日)
繰上償還	受益権の総口数が10億口を下回る事となった場合等には 繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年4月20日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(4月20日)の決算時に原則として収益の分配を行います。 ただし、必ず分配を行うものではありません。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合や、分配金が支払われない場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益(法人の 場合は個別元本超過額)が課税の対象となります。 ※税法が改正された場合等は変更される場合があります。

# 手続・手数料等

## ファンドの費用(あおぞら銀行でお申込みの場合)

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	なし
信託財産留保額	なし

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	本ファンドの運用管理費用 (信託報酬):純資産総額に対して	年率0.5775%(税抜0.525%)
	投資対象とする投資信託証券の 運用報酬:資産総額に対して	最大で年率0.262%程度*1
	実質的な負担: 純資産総額に対して	<b>年率0.8395%(税込)程度*2</b>
	<p>*1 投資対象とする投資信託証券を、投資方針に基づいて組入れた場合の最大値を委託会社が算出したものです。</p> <p>*2 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。</p> <p>※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</p>	
その他の費用・手数料	信託事務 の諸費用	監査費用、印刷費用等、計理業務およびこれに付随する業務に係る費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.2%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。
	売買委託 手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記当該手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。



## 委託会社その他関係法人の概要について

- あおぞら投信株式会社(委託会社)：信託財産の運用の指図等を行います。
- 三井住友信託銀行株式会社(受託会社)：信託財産の保管・管理等を行います。
- 株式会社あおぞら銀行(販売会社)：本ファンドの販売業務等を行います。

## あおぞら投信株式会社

電話：03-6752-1051 [受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで]

※2022年6月1日以降、上記電話番号が050-3199-6343に変更となります。

ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>



AOZORA

# あおぞら投信

お客様の大切な資産を全力で守り、育てていく、  
長くお付き合いいただける運用会社に